

平成24年3月22日

計画的避難区域から搬出された資材又は原材料等の確認について (碎石等を除く)

原子力災害対策本部原子力被災者生活支援チームからの注意喚起を受けて、経済産業省は、高い放射線量の物資が流通している可能性の調査を行ったところ、現時点において、計画的避難区域内に立地する企業において屋内での保管もしくは出荷等の際に洗浄・切削等がなされていることが確認されましたのでお知らせいたします。なお、引き続き、懸念が生じた場合には適宜調査を行います。

1. 経緯

福島県二本松市の一部建築物において屋外より高い線量が測定された問題を踏まえて、1月24日に原子力災害対策本部原子力被災者生活支援チームより福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性物質が付着・混入した物の流通についての注意喚起の文書が発出されました。

(参考) 計画的避難区域設定前における線量の高い地域の碎石の流通に伴う問題への当面の対応について

http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/pdf/120125_01a.pdf

これを受けて、計画的避難区域内において屋外に保管等されていた可能性のある類似の物資として、碎石等を除く資材及び原材料等について、高い放射線量の物資が流通している可能性について検討を行いました(※碎石等については別途調査を行っています)。

【可能性を検討した物資】

コンクリート製品、畳、瓦、れんが、鉄骨等、石灰(石)、廃タイヤ、
鋳物・金型等、石材、陶土、プラスチック、けい砂等

※鉄、アルミニウム、銅、ガラス等の加工の過程において高温で溶融している物資については、仮に原料にセシウム等の放射性物質が付着していたとしても気化して除去されることで製品内には残留しないものと整理。

2. 今回の調査について

(1) 調査内容

今般、上記検討の結果抽出されたこれらの物資について、業界団体・自治体等を通じ、

- ①実際に当該物資が屋内に保管されていたか
- ②（屋外に保管されていた場合）出荷等の際に洗浄・切削等を行っていたかの観点から、高い放射線量の物資が流通している可能性の調査を行いました。

(2) 調査結果

現時点で把握している範囲については、計画的避難区域内に立地する企業※において、屋内での保管もしくは出荷等の際に洗浄・切削等がなされていることが確認されました。加えて、出荷等に当たっては多くの企業において、自主的に放射線量検査を行っていることも確認されました。引き続き、懸念が生じた場合には適宜調査を行ってまいります。

※計画的避難区域内に立地する企業・・・鋳物・金型等（10社）、石材（8社）、廃タイヤ（1社）、プラスチック（2社）

<調査結果>

現時点で状況を把握している企業において、以下のとおり、屋内で保管、製品化の際の洗浄・切削等のいずれかを行った上で出荷していることを確認済みです。

○鋳物・金型等

計画的避難区域における10社の現状を把握。屋内で保管を行っていることを確認済み。

○石材（墓石原材料等）

計画的避難区域における8社の現状を把握。製品にする際、原石を切削・洗浄等しているため、仮に原石に放射性物質が付着していたとしても除去されると考えられる。また、6社においては震災後に営業ないしは出荷をしていないことも確認済み。

○廃タイヤ

計画的避難区域における1社の現状を把握。出荷に当たっては必ず洗浄しているため、仮に放射性物質が付着していたとしても除去されていると考えられる（また、大半は燃料として使用されており製品には混入されていない。

残りについても、表面を切削等した上でタイヤとしてリサイクルされている。)

○プラスチック

計画的避難区域における2社の現状を把握。1社は、屋内で製造、保管を行っていることを確認済み。また、もう1社は、東日本大震災後、7月に計画的避難区域外での操業再開まで営業をしていなかったことを確認済み。

(参考)

警戒区域内に立地していた企業

現時点で状況を把握している、コンクリート製品(1社)、鉄骨等(4社)、陶土(1箇所(25社))を扱う企業において、東日本大震災後に物資を流通させていないことを確認済み。

また、警戒区域内にてけい砂を採掘している企業(1鉱山)についても、震災後は採掘していないことを確認済み。なお、震災前に採掘した在庫は、警戒区域・計画的避難区域の外にある建屋に保管されていたものを一部出荷しているが、県による放射線量のサンプル検査を受けていることを確認済み。

(本発表資料のお問い合わせ先)

製造産業局 住宅産業窯業建材課長 渡邊昇治

担当者：黒田、渡辺、齊藤

電話：03-3501-1511 (内線 3761~6)
03-3501-9255 (直通)

製造産業局 鉄鋼課長 塩田康一

担当者：葛岡、石神、佐藤

電話：03-3501-1511 (内線3661~6)
03-3501-1926 (直通)

製造産業局 非鉄金属課長 星野岳穂

担当者：川淵、北間、菊池

電話：03-3501-1511 (内線 3681~4)
03-3501-1794 (直通)

製造産業局 化学課長 宮本昭彦

担当者：森

電話：03-3501-1511 (内線 3731)
03-3501-1737 (直通)

製造産業局 素形材産業室長 田中哲也

担当者：伊奈、川原

電話：03-3501-1511 (内線 3827~9)
03-3501-1063 (直通)

商務情報政策局 日用品室長 江川邦雄

担当者：高橋(陶土、ガラス)、宮村(石材)

電話：03-3501-1511 (内線 3891~5)
03-3501-1705 (直通)

資源エネルギー庁 資源・燃料部 鉱物資源課長 安永裕幸

担当者：杉本、齊藤

電話：03-3501-1511 (内線 4701~5)
03-3501-9918 (直通)

※各物資毎の担当課は下記の通り

- ・コンクリート製品、畳、瓦、れんが [住宅産業窯業建材課]
- ・鉄骨等、鉄 [鉄鋼課]
- ・廃タイヤ、プラスチック [化学課]
- ・石灰(石) [化学課・鉱物資源課]
- ・鋳物・金型等 [素形材産業室]
- ・石材、陶土 [日用品室]
- ・けい砂 [鉱物資源課]
- ・アルミニウム、銅 [非鉄金属課]
- ・ガラス [住宅産業窯業建材課・日用品室]